

がん診療の経済的な負担に関するアンケート調査

1. 担当がん患者数
(実人数)

	担当患者数		主に経済的理由によって治療を変更・中止した患者	
			過去1ヶ月間	過去6ヶ月間
入院	(1ヶ月平均)	人	人	人
外来	(1週間平均)	人	人	人

2. 過去6ヶ月間に主に経済的理由によって治療を変更・中止した事例のうち、直近3例について
事例① ワープロなどで作成したものを添付していただいても結構です。

性(男・女)	年齢(歳)	経過年数()年()ヶ月	転移(有・無)	再発(有・無)
部位 (造血系は病名を記入)				
病期	I (A・B・C)	II (A・B・C)	III (A・B・C)	IV (A・B)

予定の治療 術式・処方などを具体的に

手術
 薬物
 放射線
 緩和
 その他()

変更後の治療 対処法を具体的に



事例③

性（男・女）	年齢（ 歳）	経過年数（ ）年（ ）ヶ月	転移（有・無）	再発（有・無）
部位 （造血系は病名を記入）				
病期	I（A・B・C）	II（A・B・C）	III（A・B・C）	IV（A・B）

予定の治療 術式・処方などを具体的に

手術
 薬物
 放射線
 緩和
 その他（ ）

変更後の治療 対処法を具体的に



3. がん患者の経済的負担についての説明

- 必ず説明している たいてい説明している あまり説明していない 全く説明していない

↓ 主に説明している人に○

内容	費用	医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・事務員・その他（ ）
	制度	医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・事務員・その他（ ）

4. がん患者の経済的負担軽減について、優先度の高い項目を3つまで(その他を含む) をつけて下さい。

- 治療の費用や負担軽減の制度について正確な情報を提供する
- 就労・雇用継続・復職を支援する
- がん医療の患者負担割合を他の病気より軽くする
- 相談支援センターなど相談機能を強化する
- 抗がん剤のドラッグラグを解消する
- 高額療養費制度の自己負担限度額を引き下げる
- 高額療養費制度の現物支給を外来治療にも適用する
- 入院適応の厳格化と在院日数の短縮化を図る
- 医療連携を進め、検査を最小限にする
- ジェネリック薬の普及を図る
- 民間療法やサプリメントについて正しい知識の普及を図る
- 補装具などの費用を医療保険でカバーする
- 民間保険を充実する
- その他（ ）

5. ご自身について

臨床経験年数（ ）年	（ 男 ・ 女 ）	（ 常勤 ・ 非常勤 ）
診療科名（ ）科	勤務地（ ）都道府県	
勤務先の病床数（ ）床	がん診療連携拠点病院ですか（ はい ・ いいえ ）	

6. がん診療の経済的負担について、自由にご意見をお書き下さい。

記入日 月 日

ご協力、どうもありがとうございました。

表 H22-3-1. 回答者の属性(がん臨床医)

臨床経験年数 (n=786)		17.8±7.5
性別 (n=784)	男	693 (88.4%)
	女	91 (11.6%)
勤務 (n=789)	常勤	729 (92.4%)
	非常勤	60 (7.6%)

表 H22-3-2. 担当がん患者数

	担当患者数	主に経済的理由によって治療を変更・中止した患者	
		過去1ヶ月間	過去6ヶ月間
入院 (n=797)	1ヶ月平均		
	19.7±25.7 人	1.5±2.1 人 9.17±9.77 %	2.3±1.9 人 2.83±5.03 %
外来 (n=864)	1週間平均		
	39.3±53.9 人	1.6±1.8 人 1.55±2.38 %	1.0±0.0 人 0.39±0.50 %

図 H22-3-1. 患者の経済的負担についての説明

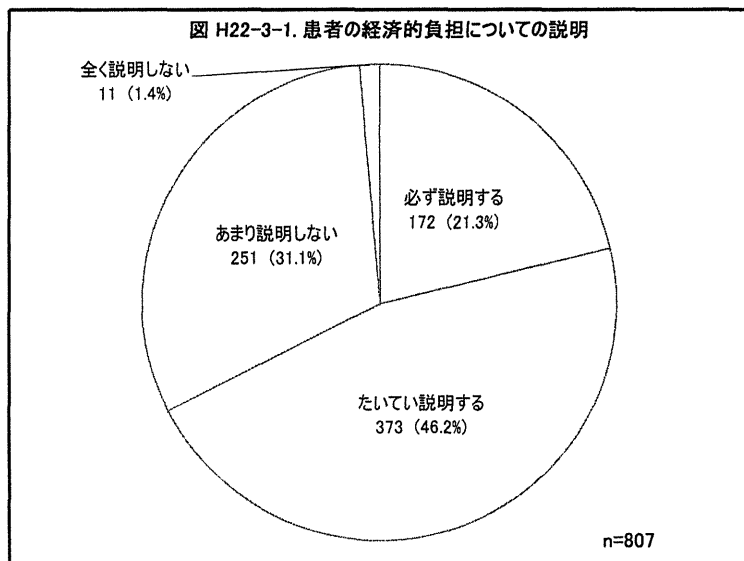


図 H22-3-2. がん患者の経済的負担軽減について優先度の高い項目(複数回答)

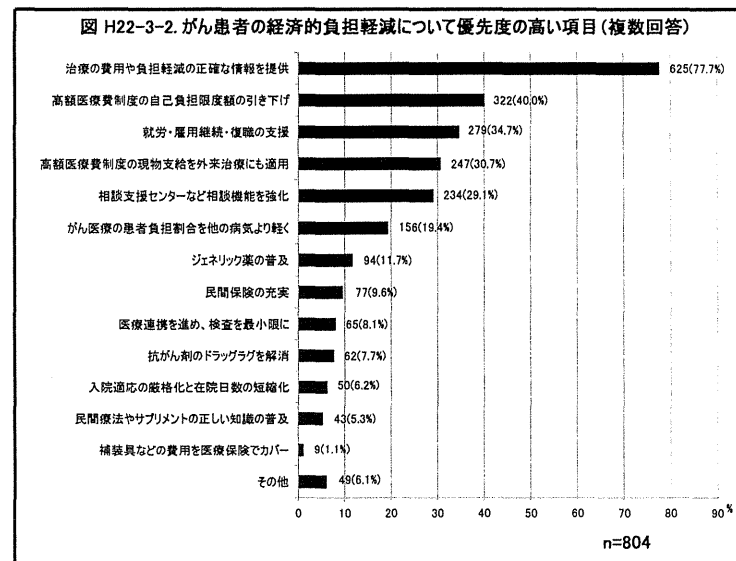
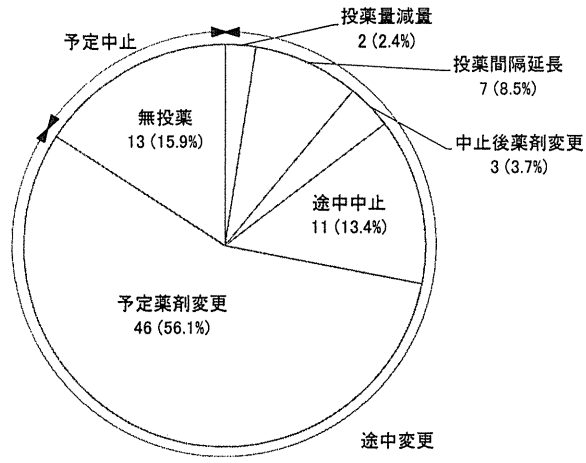
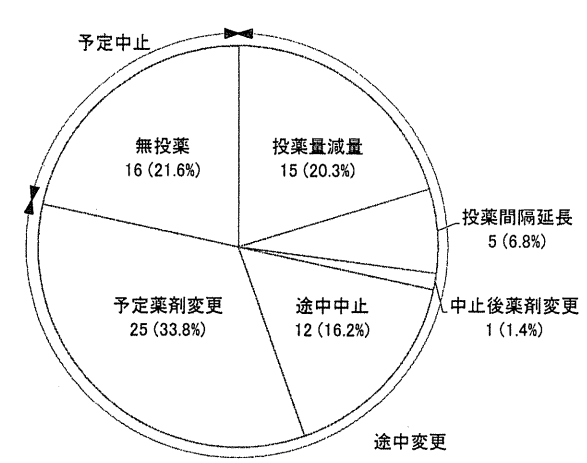


図 H22-3-3. 変更内容の割合(固形がん)



n=82

図 H22-3-4. 変更内容の割合(造血系腫瘍)



n=74

がん診療の経済的な負担に関するアンケート調査

平成 23 年度 厚生労働科学研究費補助金 第 3 次対がん総合戦略研究事業
「がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究」

研究代表者：濃沼 信夫（東北大学教授）
研究分担者：石岡 千加史（東北大学教授）
江崎 泰斗（九州がんセンター医長）
大辻 英吾（京都府立医科大学教授）
岡本 直幸（神奈川県立がんセンター専門員）
金倉 譲（大阪大学教授）
佐々木 康綱（埼玉医科大学国際医療センター教授）
執印 太郎（高知大学教授）
武井 寛幸（埼玉県立がんセンター部長）
直江 知樹（名古屋大学教授）
西岡 安彦（徳島大学准教授）
古瀬 純司（杏林大学教授）
堀田 知光（名古屋医療センター院長）

<調査の趣旨>

このアンケートは、経済的な負担ができるだけ少ない、がん医療の実践に向けた基礎資料を得ることを目的としています。

<お願い>

このアンケートは、がん診療を受けられている皆様を対象にしております。

- 日数や金額などをおたずねする項目では、過去の領収書などを参考にしながらお答え下さい。正確にわからない場合は、おおよそで結構です。
- お答えいただいたアンケートは、返信用の封筒でお送り下さい。
その際にアンケートおよび返信用封筒にお名前を書いていただく必要はありません。
- ご自身の診断名、病期、治療内容の情報の提供に同意される場合は、同意書に署名いただきます。同意を受けた後に、医師から提供されたデータを突合するためこの調査票に整理番号が記されていますが、個人が特定されることはありません。
またアンケートに参加しなくても、今後の診療に不利益は生じません。
- まことに恐れ入りますが、お答えいただいたアンケートは、1週間程度でご返送下さい。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

記入日	平成	年	月	日
-----	----	---	---	---

<お問い合わせ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野
伊藤道哉、金子さゆり、尾形倫明

TEL : 022-717-8128 FAX : 022-717-8130

No

がん診療の経済的な負担に関するアンケート調査

1. 現在がんに関してお困りの事がありますか。ある場合は重要なもの3つまで○をつけて下さい。

治療・心身の面 □ない □ある（下記より3つまで○）	経済的な面 □ない □ある（下記より3つまで○）	社会的な面 □ない □ある（下記より3つまで○）
1 再発・転移	1 医療費（保険診療）	1 家族との関係
2 後遺症・副作用	2 医療費（自費診療）	2 友人・隣人との関係
3 外見の変化	3 通院にかかる交通費	3 医師・看護師などとの関係
4 気分が落ち込む	4 民間療法の費用	4 仕事
5 夜眠れない	5 補正具・補装具などの費用	5 財産
6 食欲がない	6 介護費用	6 趣味・生き甲斐
7 食事に気をつかう	7 収入の減少	7 定期的受診の煩わしさ
8 排尿・排便	8 貯蓄の目減り	8 医療への依存
9 その他（ ）	9 その他（ ）	9 がん情報の入手
		10 その他（ ）

2. 医療保険の自己負担割合は、何割ですか。あてはまるものに○をつけて下さい。

3割	2割	1割	自己負担なし
----	----	----	--------

3. がんに関して、過去1年間の支出入を、領収書・家計簿等を見ながらご記入下さい。
該当しない場合は0円と記入して下さい。

病院や薬局の窓口で支払った金額	入院分	円
	外来分	円
通院の際の往復交通費（宿泊費を含む・1回あたり）		円
健康食品や民間療法の支出		円
その他の支出（補装具など）		円
がん医療に関する民間保険	払った保険料	円
	受け取った給付金	円
高額療養費制度	現在の自己負担限度額	円
	戻ってきた金額	円
医療費還付として戻ってきた税金（昨年1年間）		円

4. 過去1年間にこの病気で入院された期間を ←→ で記入し
 入院の理由（手術・検査等）を書き入れて下さい。
 また、外来通院された日には○をつけて下さい。
 わが国における適切な入院日数、通院頻度を検討する資料
 となるものです。

過去1年間の入院のべ日数	日
過去1年間の外来通院回数	回

〈記入例〉

2011年1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	㊦	22
23	24	25	26	27	28	29
30	㊦					

手術

2010年(昨年)

2010年9月							2010年10月							2010年11月							2010年12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	26	27	28	29	30	31							
							31																				

2011年(今年)

2011年1月							2011年2月							2011年3月							2011年4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5						1	2
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
23	24	25	26	27	28	29	27	28	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30
30	31																										

5. 治療を振り返って、入院や外来について思ったことで、あてはまる番号 1 つに○をつけて下さい。

	大変満足	やや満足	やや不満	大変不満	その理由
診療に関する説明内容	1	2	3	4	()
診療に関する説明時間	1	2	3	4	()
入院期間 (該当者のみ)	1	2	3	4	()
外来通院回数	1	2	3	4	()
外来での待ち時間	1	2	3	4	()
診察時間	1	2	3	4	()
診察内容	1	2	3	4	()
検査回数	1	2	3	4	()
医師の対応	1	2	3	4	()
看護師の対応	1	2	3	4	()
窓口の対応	1	2	3	4	()
病院までの交通の便	1	2	3	4	()

6. ご自身について

年齢	歳	性別	男	女	居住地	都道府県
----	---	----	---	---	-----	------

7. 現在の病気について

部位・病名				病期	I	II	III	IV	不明
初めてがんと診断された日	平成	年	月	日	再発	有 無			
	昭和								

8. がん医療の経済的負担について、自由にご意見をお書き下さい。

ご協力、どうもありがとうございました。

表 H23-1. 回答者の属性

性別	全体	2,752
	男	1,141 (41.5%)
	女	1,611 (58.5%)
年齢 (歳)	全体	63.3 ± 11.9 (n=2,749)
	男	67.7 ± 10.6 (n=1,140)
	女	60.3 ± 11.9 (n=1,608)
初回診断時期 (ヶ月前)		38.6 ± 58.1 (n=2,403)
入院日数		32.8 ± 38.3 (n=1,592)
通院回数		19.6 ± 16.5 (n=2,394)

図 H23-1. 自己負担額と償還額 (年間)

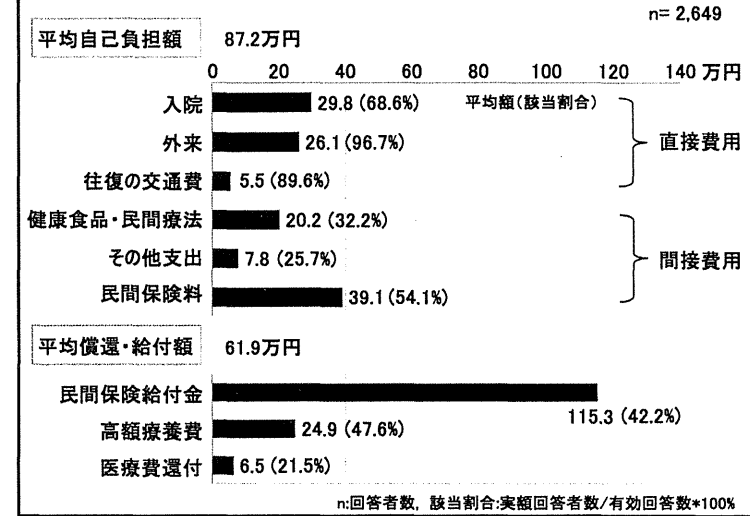


表 H23-2. 回答者の属性 (医師・患者突合データ)

性別	全体	2,089
	男	838 (40.1%)
	女	1,251 (59.9%)
年齢 (歳)	全体	63.3 ± 11.7 (n=2,086)
	男	67.6 ± 10.6 (n=837)
	女	60.5 ± 11.6 (n=1,248)
初回診断時期 (ヶ月前) (医師データ)		30.3 ± 36.2 (n=1,865)
入院日数		32.3 ± 36.5 (n=1,198)
通院回数		19.3 ± 16.5 (n=1,832)

図 H23-2. Clinical Stage (医師データ)

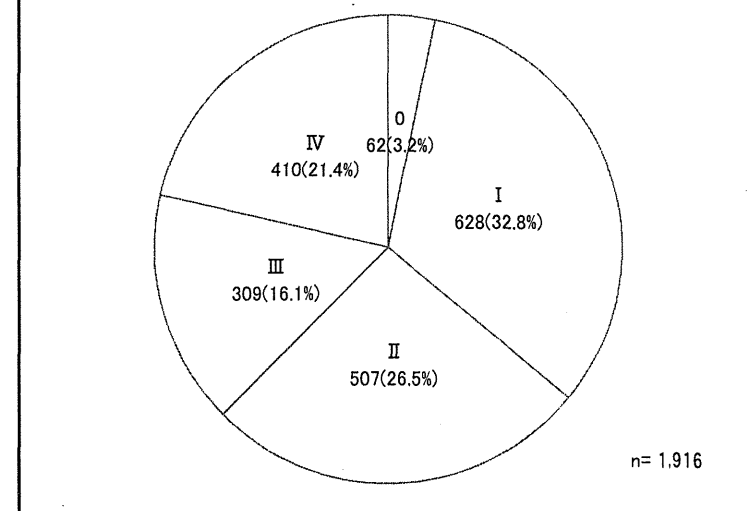


図 H23-3. がんに関する経済的な面の困りごと

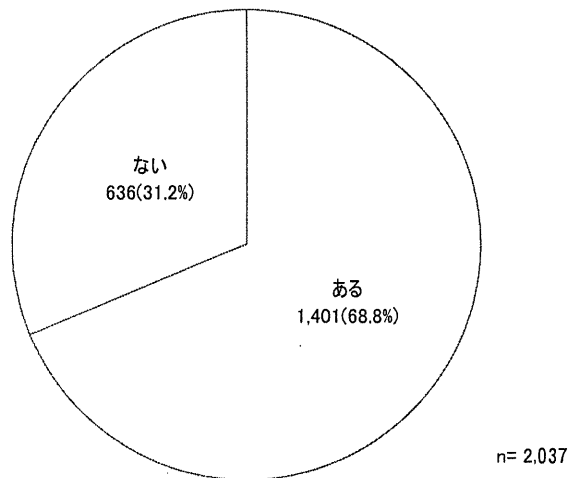


図 H23-4. がんに関する経済的な面の困りごと

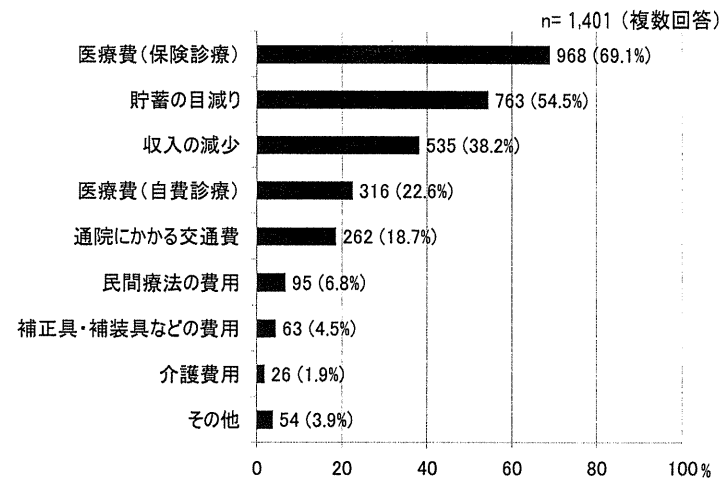


図 H23-5. 医療保険の自己負担割合

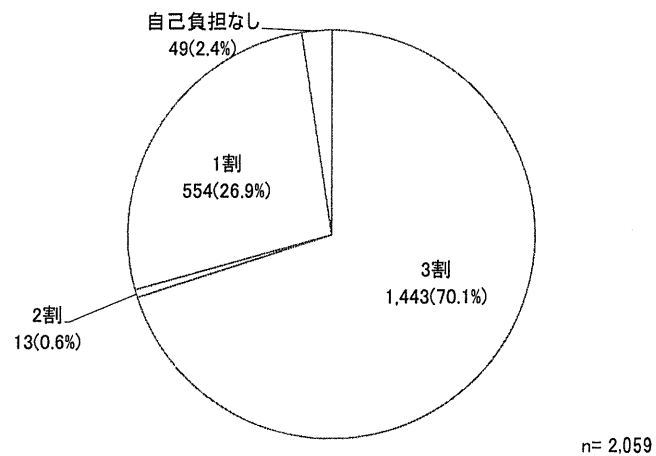


図 H23-6. 自己負担額と償還額

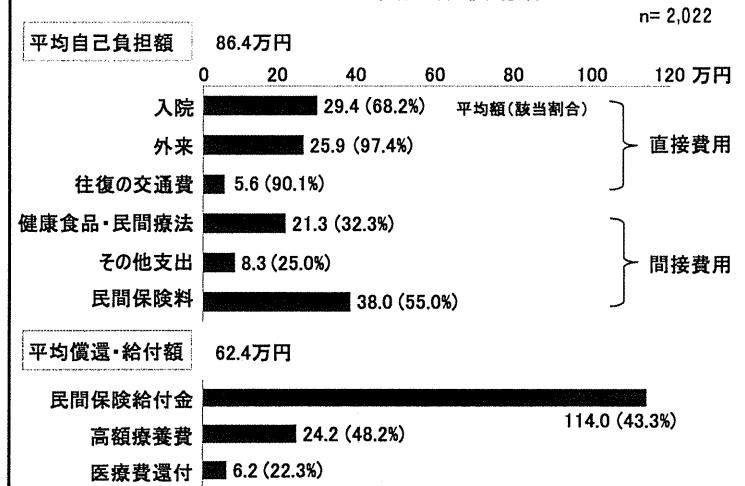
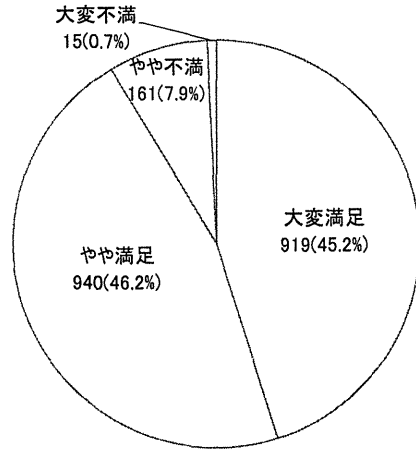
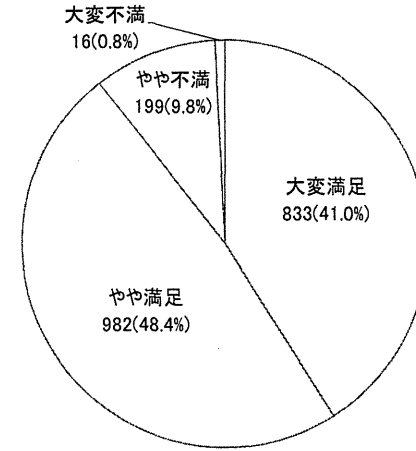


図 H23-7. 診療に関する説明内容



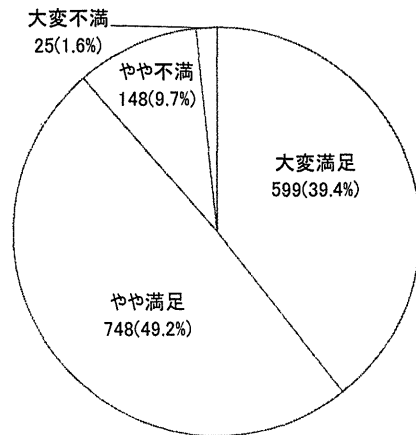
n= 2,035

図 H23-8. 診療に関する説明時間



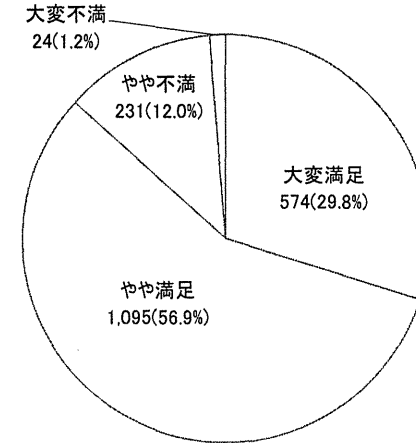
n= 2,030

図 H23-9. 入院期間



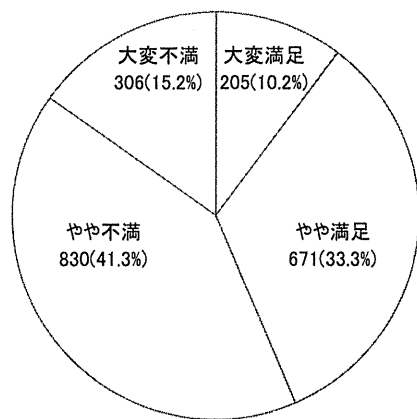
n= 1,520

図 H23-10. 外来通院回数



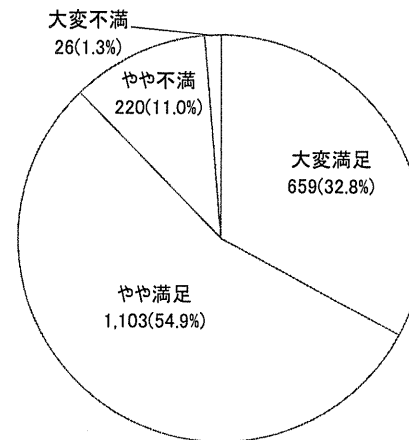
n= 1,924

図 H23-11. 外来での待ち時間



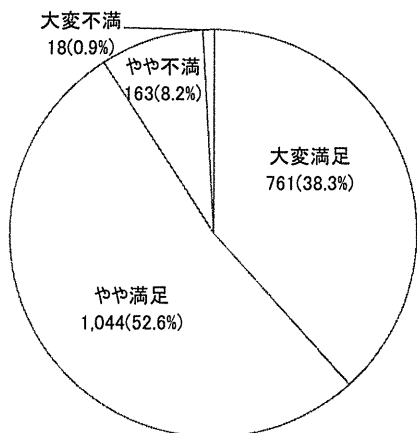
n= 2,012

図 H23-12. 診察時間



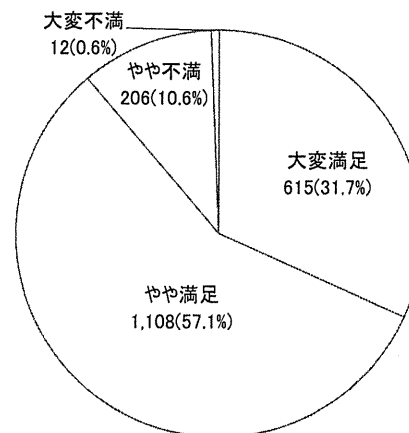
n= 2,008

図 H23-13. 診察内容

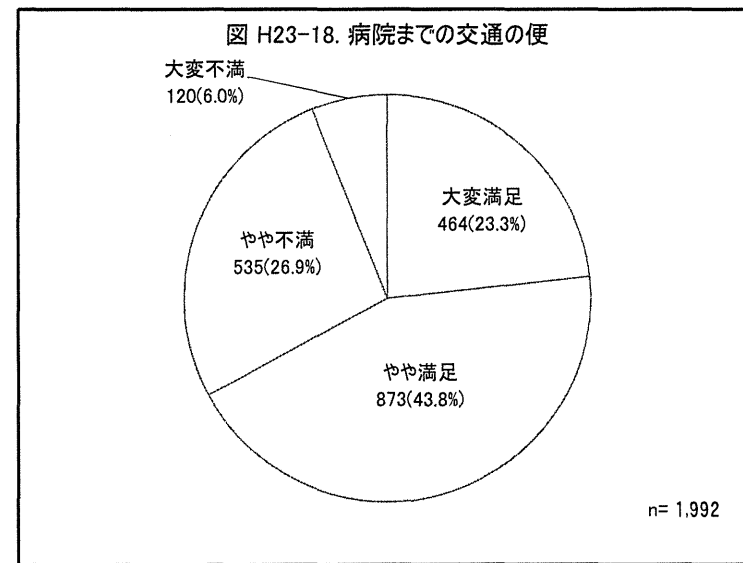
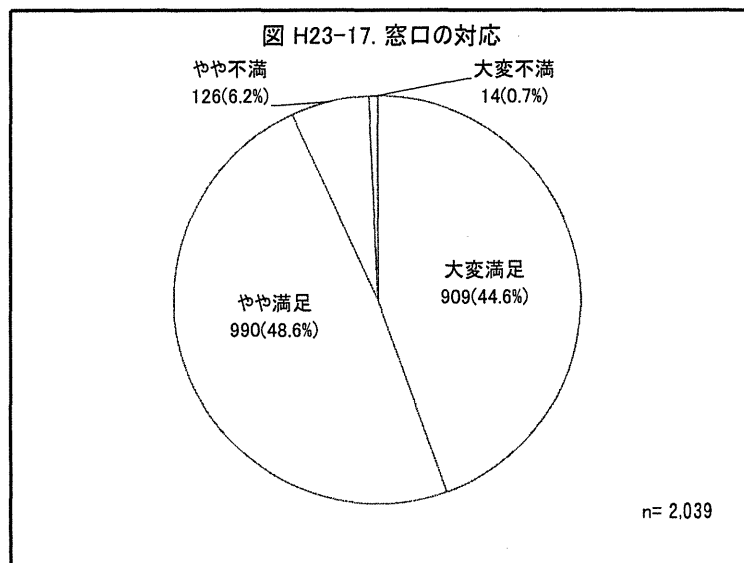
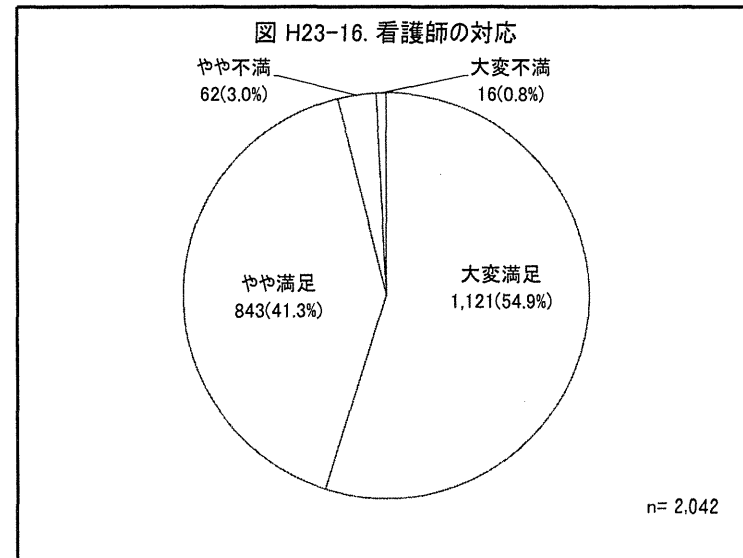
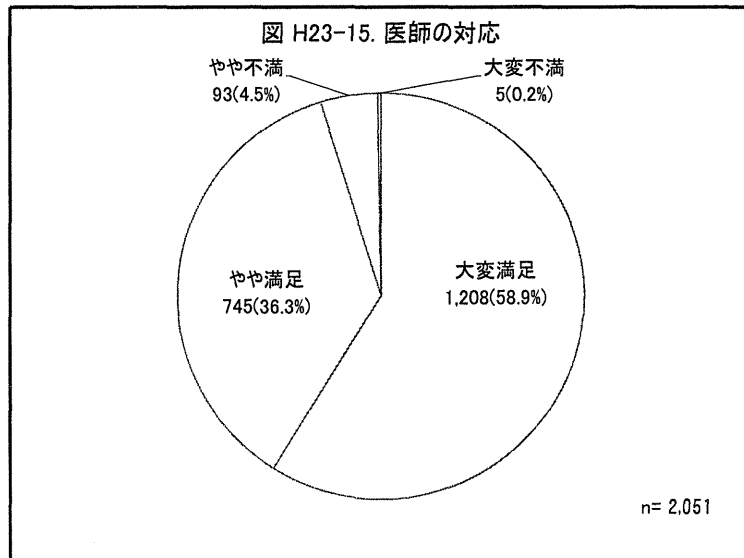


n= 1,986

図 H23-14. 検査回数



n= 1,941



がん診療の経済的な負担に関するアンケート調査

平成24年度 厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業
「がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究」

研究代表者：濃沼 信夫（東北大学教授）
研究分担者：石岡 千加史（東北大学教授）
植田 健（千葉県がんセンター部長）
江崎 泰斗（九州がんセンター医長）
大辻 英吾（京都府立医科大学教授）
岡本 直幸（神奈川県立がんセンター部長）
金倉 譲（大阪大学教授）
佐々木 康綱（昭和大学教授）
執印 太郎（高知大学教授）
武井 寛幸（埼玉県立がんセンター部長）
直江 知樹（名古屋大学教授）
西岡 安彦（徳島大学教授）
古瀬 純司（杏林大学教授）

<調査の趣旨>

新しいがん対策推進基本計画では、療養する患者さんが安心して働き暮らせる社会の構築が目ざされています。このアンケートは、経済的な負担ができるだけ少ない、がん医療の実践に向けた基礎資料を得ることを目的としています。

<お願い>

- ご記入後は返信用の封筒でご返答下さい。お名前を書きいただく必要はありません。この用紙には整理番号が記されていますが、個人が特定されることはありません。
- ご自身の治療情報の提供について、いずれか一方に○をつけて下さい。

治療情報を医師から提供されることに同意しますか。

はい ・ いいえ

いいえに○をつけた方も、このアンケートにご回答下さい。

- アンケートに参加されなくても、今後の診療に不利益は生じません。
- 1週間程度でご返送下さい。よろしくお願い申し上げます。

記入日

月 日

<お問い合わせ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野
伊藤道哉、尾形倫明

TEL：022-717-8128 FAX：022-717-8130

5. ご自身について

年齢	歳	男	女	居住地	都道府県
今のがんと診断された時期		西暦	年	月	

世帯構成	世帯員の数（家計をともにする方）	人	世帯における就業者数	人
------	------------------	---	------------	---

6. この病気と、どう向き合っていますか。自由にお書き下さい。

7. お仕事について

今のがんと診断された時期に、仕事をしていましたか。

- いいえ（無職・専業主婦など） → このアンケートは以上で終了です。
 はい → 下記の質問にお答え下さい。

記入例

お勤めの方 常勤 非常勤
 規模 ~100人 ~999人 1000人~

お勤めの方 常勤 非常勤
 規模 ~100人 ~999人 1000人~

お勤め以外の方

お勤め以外の方

今のがんと診断された後のお仕事の変化

今のがんと診断された後のお仕事の変化

年	月	
---	---	--

2010年12月	治療のため、休職
----------	----------

年	月	
---	---	--

2011年3月	時短勤務で、職場に復帰
---------	-------------

年	月	
---	---	--

2012年3月	再び、休職
---------	-------

年	月	
---	---	--

年	月	
---	---	--

現在 常勤 非常勤 自営業 専業主婦(夫) 無職
 その他 ()

現在 常勤 非常勤 自営業 専業主婦(夫) 無職
 その他 ()

8. お仕事に変化があった方にお聞きします。

- 継続しなかった やむをえない 前と変わらない 前より良くなった
 その他 ()

ご協力、どうもありがとうございました。